

塘研究室現地調査報告

ふくしまレッドリスト改訂調査として、4月16日から5月3日までの3回（4/16, 4/23, 5/3）、吾妻高原牧場付近にてヒメギフチョウの分布確認調査を実施しました。残念ながら、3回の調査で成虫を確認することはできず、また、食草であるウスバサイシンは確認しましたが、それから卵や幼虫も確認することはできませんでした。

現地はスギやヒノキの植林とミズナラとコナラを主とする雑木林からなり、わずかですがブナも確認しました。ヒメギフとともに出現する春の蝶類（コツバメ、ミヤマセセリ、ツマキチョウ、ルリシジミ）は確認でき、林床植物もショウジョウバカマ、各種スミレ類、キクザキイチゲなど比較的豊富でした。5月3日は福島市茂庭の宮城県境付近にも回ってみましたが、こちらはウスバサイシンを見つけることすらできませんでした。吾妻高原牧場では現地に入った他の調査員もヒメギフは未発見だったそうです。県内の他の既知産地も同様の状況で、福島県のヒメギフチョウはかなり厳しい状況のようです。



ミヤマセセリ
(吾妻高原牧場・李平)



スゲハムシ
(吾妻高原牧場・李平)



コツバメ
(吾妻高原牧場・李平)



キクザキイチゲ紫花
(吾妻高原牧場・惣八郎)



キクザキイチゲ白花／ビロードツリアブ
(吾妻高原牧場・惣八郎)



ショウジョウバカマ
(吾妻高原牧場・惣八郎)



ツマキチョウ♀
(高湯・信夫温泉)



サカハチチョウ（春型）
(茂庭・焼松林道)



ゴマフヒゲナガみ
(吾妻高原牧場・惣八郎)



ミズバショウ
(吾妻高原牧場・惣八郎)



ウスバサイシン
(吾妻高原牧場・李平)



エイザンスミレ
(高湯・信夫温泉)